

授業科目名	社会福祉援助技術演習		担当教員名	入江 実
必修/選択	選択 (/社会福祉主事任用資格)		開講学年・学期	1/2年 (※令和3年度は開講しません)
科目区分	その他の資格取得科目		単位数	2単位 (時間)
施行規則に定める科目区分等			授業方法/担当形態	演習 / 単独
			特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の到達目標	(1)習得した社会福祉援助技術の理論、技術を演習し、応用能力を向上させる。 (2)演習を通じて、具体的に人権の尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。			
授業の概要	社会福祉実践を展開する上で必要とされる社会福祉援助技術の3領域 (①直接援助技術、②間接援助技術、③関連援助技術) を教科書に沿って学習しますが、その際学生に課題設定をし、学生自らレポート等にまとめ発表する形式で学習する。			
テキスト	「改訂 新しいソーシャルワーク社会福祉援助技術入門」杉本敏夫、住友雄資著 (中央法規)			
参考書・参考資料等	特に指定せず			
成績評価の方法	○授業への参加意欲：20% ○レポート：25% ○定期試験：55%			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	演習の進め方			
第2回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定			
第3回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (1)インテークの内容 (報告者)			
第4回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (2)アセスメント (社会調査) の内容 (報告者)			
第5回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (3)プランニング (社会診断) の内容 (報告者)			
第6回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (4)社会実践 (報告者)			
第7回	1.社会福祉援助技術を、その援助過程を具体的に理解させるために各学生に課題を設定 (5)社会評価 (報告者)			
第8回	新聞記事を教材とした学習			
第9回	3(1)生活保護演習の課題と事例① (実施責任、世帯認定、収入認定、最低生活費算出、困難事例)			
第10回	3(1)生活保護演習の課題と事例② (実施責任、世帯認定、収入認定、最低生活費算出、困難事例)			
第11回	3(2)障がい者福祉演習の課題と事例① (障害者の問題の把握、社会資源活用事例)			
第12回	3(2)障がい者福祉演習の課題と事例② (障害者の問題の把握、社会資源活用事例)			
第13回	3(3)児童福祉演習の課題と事例① (要保護児童の発見と問題の把握、児童虐待事例)			
第14回	3(3)児童福祉演習の課題と事例② (要保護児童の発見と問題の把握、児童虐待事例)			
第15回	中間まとめ			
定期試験	筆記試験			
第16回	2.基本的なコミュニケーションをとるために必要な対応・意識を学習する (バイステックの原則)			
第17回	2.(1)個別化の原理 (報告者)			

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第18回	2.(2)統制された情緒的関与（報告者）	
第19回	2.(3)意図的な感情表出（報告者）	
第20回	2.(4)受容（報告者）	
第21回	2.(5)非審判的態度（報告者）	
第22回	2.(6)自己決定（報告者）	
第23回	2.(7)秘密保持（報告者）	
第24回	3.(4)老人福祉演習の課題と事例①（要援護老人の発見と問題の把握、老人虐待事例）	
第25回	3.(4)老人福祉演習の課題と事例②（要援護老人の発見と問題の把握、老人虐待事例）	
第26回	3.(5)家庭福祉演習の課題と事例①（要支援過程及び女性の発見と問題の把握、家庭内暴力事例）	
第27回	3.(5)家庭福祉演習の課題と事例②（要支援過程及び女性の発見と問題の把握、家庭内暴力事例）	
第28回	3.(6)地域福祉演習の課題と事例①（地域における福祉ニーズ調査・地域福祉計画の策定）	
第29回	3.(6)地域福祉演習の課題と事例②（地域における福祉ニーズ調査・地域福祉計画の策定）	
第30回	全体のまとめ	
定期試験	筆記試験	